

2022年度 サッカー審判資格昇級について

十勝少年サッカー連盟審判委員会

○4級→3級への昇級

1. 大まかな流れ

一次試験（第4種カテゴリーでの実技のみ） ※少年連盟審判委員会主催

↓合格者

最終試験（第3種カテゴリーでの実技+走力・学科試験） ※十勝地区協会審判委員会主催

↓合格者

☆**サッカー審判員3級資格認定**☆

2. 各試験の詳細

①一次試験

- ・年間2回実施します。これ以外に実施する予定はありませんので、昇級を目指す方は必ずこの日程で参加してください。
- ・前期は5月下旬に予定している「道東ブロックトレセンin十勝」、後期は6月下旬に予定している「北海道トレセンU12全道選抜大会」を対象試合として予定しています。（変更の場合もあります）
- ・主審を中心に担当していただき、合格基準に達した方は最終試験に進みます。
- ・前期で不合格だった場合、後期での再チャレンジが可能です。
- ・合格の主な基準は①判定の的確性（規則の適用、アドバンテージ）②ゲームコントロール（笛やシグナル、カード適用）③ポジショニング（体力や動き、11人制フルピッチでも対応できるか）④副審との協力（シグナルの対応やアイコンタクト、視野の向きなど）です。概ね85%の到達で合格となります。

②最終試験

- ・大会日程と調整しながら随時行います。
- ・実技の大会は「十勝地区カブスリーグU-15」です。11人制で35分ハーフの予定です。
- ・主審と副審を1試合ずつ担当していただきます。
- ・女性については少年カテゴリーの試合が対象となります。
- ・走力と学科については実技と別会場別日程になります。
- ・合格の基準は一次試験とほぼ変わりません。ただ、8人制と11人制の規則の違いや、コートの大さの違い、更には選手のスピードやキック力も違うので、その部分にしっかりと対応できるかがポイントとなります。

※最終試験の受講にあたって【重要】

- ・受験者は基本的にピッチサイズ105×68mでの審判経験が数試合必要です。近隣の中学校の試合（練習試合や紅白戦でも可）で予め経験を積んでください。
- ・105×68mで経験する場がない方は、審判委員会で調整しますのでお知らせください。

担当：審判委員会副委員長 山田卓良 shstt131620@dune.ocn.ne.jp

3. 昇級試験への参加条件

- 8人制もしくは11人制サッカーの主審経験を10試合以上積んでいる。(学年や大会、公式戦や練習試合は問いません) ※主審記録を申込書にご記入ください。
- 副審の経験を10試合程度積んでいる。
- 3級昇級に向けた強い意欲がある。また、審判技術向上に向け積極的に学ぶ姿勢がある。

※サッカー経験の有無は全く関係ありません。未経験の方でも条件を満たしていればOKです！

4. 事前指導について

- 5月上旬の「フクハラ杯スプリングフェスタ」にて事前指導を行います。
- 事前指導への参加は必須ではありませんが、一次試験を前にインストラクターの指導のもと、審判技術の向上をはかる機会になりますので、ご都合のつく方はぜひご参加ください。
- その他の大会でもインストラクターが対応可能であれば随時事前指導を行うことが可能です。少年連盟の審判委員会までご連絡ください。

5. 参加申込みについて

- 申込み書を各チーム宛てにメールで送ります。また、少年連盟のホームページにもアップしますので、必要事項をご記入の上、担当まで送信してください。
- 試験受講中の連絡はメールで行います。審判の割り当て等は添付ファイル(ワードやエクセル)でお知らせしますので、対応可能なメール環境をご準備ください。

○3級→2級への昇級

- 個別の対応となりますので、希望される方は審判委員会までご連絡ください。
- 試験内容は①実技試験(社会人や高校生の90分ゲーム)②走力試験③学科試験となります。
- 詳しくは北海道サッカー協会のホームページに、昨年度までの要項等がありますので、そちらをご確認ください。